

陽だまり

50回
記念号

特別企画

病院探検

あなたは当院のことをご存知ですか？



病院の基本理念と基本方針

基本理念

最新最高の医療を、安全に提供する公的医療機関として能登全域の住民の健康を守ります。

基本方針

- 1 患者の皆さまの立場を第一に考えた医療を目指します。
- 2 たゆまぬ研鑽をととして医療水準の向上を目指します。
- 3 最良でより高度な急性期医療を目指します。
- 4 医療機関との連携を密にして地域医療の推進を目指します。
- 5 公的病院を堅持しつつ健全な病院経営を目指します。
- 6 チーム医療に徹し、全職員が誇りを持って働ける病院を目指します。

七尾鹿島広域圏事務組合
病院事業管理者 川口 光平

当院の取り組みを幅広くお伝えすることを目的とした本誌は、お陰様で50回を数えることができました。これもひとえに地域住民の皆さま方のご協力があったからこそだと感謝しております。今後も皆さま方のご期待に応えるべく、医療提供環境の整備とともに誌面の充実に注力してまいりますので、変わらぬご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い申し上げます。

50回記念号発行を迎えて

START!

「中国の病院との
違いを見極めたいと
思います」と
王さん

50回記念号特別企画

病院探検

あなたは
当院のことを
ご存知ですか？

●ナビゲーター
川口光平
病院事業管理者

●隊員
おう えい
王 栄さん
七尾市役所
男女参画まちづくり課・
国際交流員



当院に一度も足を運んでいない方はもとより、通院経験のある方でも、
当院の細部までをご存知ないという方がほとんどではないでしょうか。
そこで今回は、地域住民代表の方に院内を隅々まで探検してもらい、
当院の取り組みについてもっと知っていただこうと思います。

04

- ① エントランス横の総合案内では受付職員が笑顔で出迎える
- ② 再診受付機により、受診までの流れがスムーズに
- ③ 健診センターにて視力検査。「疲れ目のようですね」
- ④ 医療情報相談室では退院後のアドバイスなどを受けることができる



01



02



03



09



10



- ⑧病理検査により、術後の診断が迅速に行える
- ⑨体内の様子を観察する内視鏡の細さにびっくり
- ⑩最新の医療設備が整っている手術室

08



07



06



05



- ⑤緊急を要する患者さんの治療にあたる救命救急センター
- ⑥救急車で搬送された患者は救急外来で対応
- ⑦放射線機器の画像はモニターで瞬時に確認できる体制を整えている

中

国出身の王さんは、大の日本好き。日本の大学で勉学に勤しんでいたこともあり、日本語は流暢に話すことができます。そんな王さんでも、日本の病院に出入りする機会ほとんどなかったため、今回の探検を楽しみにしています。

探検当日、王さんはエントランスで川口管理者と待ち合わせ、病院に一歩足を踏み入れた瞬間、採光を取り入れた明るい空間に驚きます。「病院というと、重苦しいイメージが付きますが、ホテルと見まがうほどですね」。エントランス横では、総合案内の職員が、初めて病院を訪れた方でも、

どの診療科に行けばよいかなどを、笑顔で懇切丁寧に教えています。また、再診受付機を設置し、診察までの流れをスピーディーに処理する環境も整えています。

当院の特長のひとつとして、能登地区唯一の3次救急医療を担う救命救急センターの配置が挙げられますが、ここでは脳や心臓、呼吸機能や腹部臓器などの外傷や疾病に迅速に対応できるよう、24時間365日体制で稼働しています。救急車はもちろん、ヘリポートでの搬送も受け入れており、専任医師や院内スタッフによるチーム医療体制を強化し、地域住民の方々が安心できる医療提供体制の整備に力を注いで

- ⑪ 形成外科・美容外科にて顔のシミ取りを体験
- ⑫ 木目調の床が落ち着いた雰囲気を出す人工透析室
- ⑬ 採光の良い空間で快適にリハビリテーションを行える



11



12

内科や外科などをはじめとする全23科目の診療科では、各種最新の医療機器を取りそろえています。なかでも放射線科では、64列マルチスライスCTを導入。体の断面像を瞬時に撮影することが可能となり、従来のCTでは難しかった心臓の検査や撮影範囲の広い大動脈などの診断に役立っています。また、各診療科と連動する臨床検査部では、医師から依頼された血液検査などについて、オーダーリングシステムによる迅速・正確な結果を心がけ、医師の診断に役立つように努めています。さらには、診療科の枠を越えた連携体制を敷いているので、さまざまな疾病



13

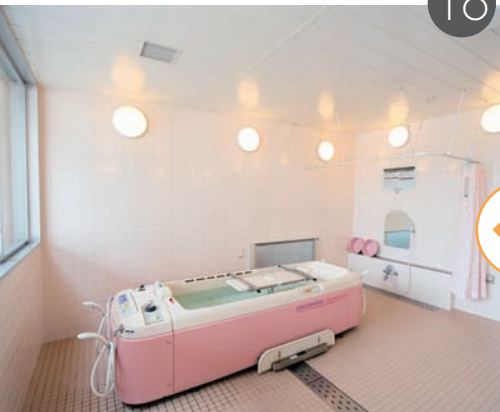
が併発した場合でも、即座に対応できるようにしています。公立病院ではめずらしい、形成外科・美容外科を設置しているのも当院の特長です。美容外科では、顔のしみやしわ、ほくろなどを取り除くケミカルピーリングを施しており、多様化する住民のニーズにも応えられるようになっています。これには王さんも興味津々。担当女医にあれこれ相談を持ちかけていました。

一方、院内のアメニティー部門では、患者さんに満足していただける環境の整備を継続的に実施。病室は、自宅でくつろぐのと同じ空間づくりを意識し、室内は落ち着いた配色で統一して



14

- ⑭ トレッドミルで安静時には発見できない心臓の働きを検査
- ⑮ 自宅と変わらないつくりを意識した特室
- ⑯ 体の不自由な方でも入浴を楽しめる特浴室



16

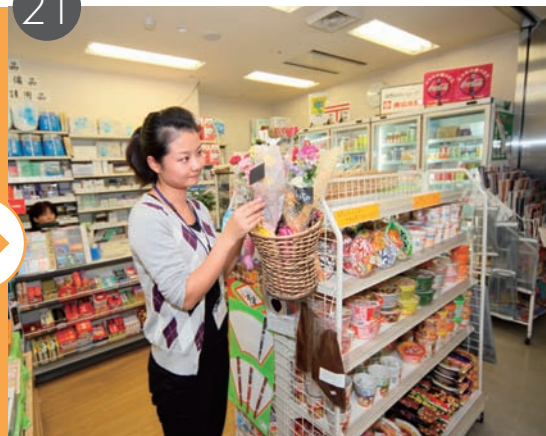


15

20



21



⑳院内各所には障害者用トイレが設置されている
㉑売店には日用必需品のほか、花も用意されている
㉒レストランでケーキセットを注文し、ほっと一息



22



19



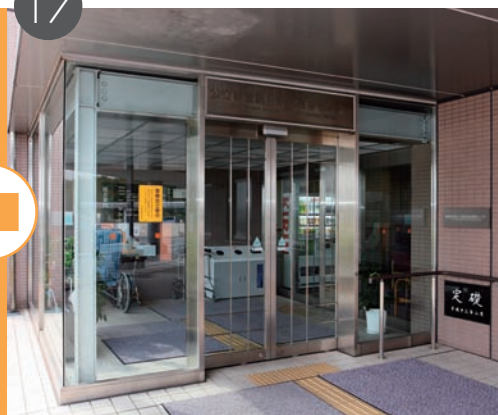
います。また、産婦人科の横には、出産後のお母さんが周囲を気にせずに授乳することのできる授乳コーナーを設置するなど、地域住民の方々や患者さんから寄せられたご意見を、通院・入院環境の改善に反映させる努力が続けています。

探検を終えた王さんは、「今までじっくりと院内を巡ったことがなかったもので、とても勉強になりました」と感心しきり。また、「ここまで医療環境が整っているなら、急に病気になったとしても安心できますね」とも。当院ではこれからも不断の努力を積み重ね、地域住民の方々が快適な生活を送ることを手助けしていきたいと考えています。

18



17



⑰ストレス症候群も受け付けている精神センター
⑱防災センターでは院内の状況を一元管理
㉓産婦人科横には周囲の目を気にせずに授乳できる授乳コーナーが

50回記念号特別企画

病院探検

あなたは
当院のことを
ご存知ですか？

探検を終えて 川口光平病院事業管理者と対談

王:今日の探検のなかで障害者用トイレを拝見しましたが、中国の病院では未設置のところが多いので驚きました。また、エントランスに車いすが配備されていたが、これも中国にはない患者への配慮ですね。

川口:日本では都市部でも地方でも、比較的環境が整っているアメニティーのひとつです。ただ今後は、より一層患者さんに満足していただくアメニティー環境の充実が求められるため、どんなことが改善できるかをつねに考え、実行に移すように心がけています。

王:なるほど。患者さんの視点に立った配慮は、これからも続けていくということですね。



②③カンファレンスでは入念な打ち合わせを行い、医療安全を保っている

「新しい発見ばかり。とても勉強になりました」



「医療の現場は文字どおり日進月歩の世界なんですね。患者も知識が必要だと痛感しました。今日はどうもありがとうございました」



●外来診療／電話番号一覧

○外科／歯科口腔外科／整形外科／リハビリ科	以上受付A	TEL.0767-52-8702
○内科胃腸科／皮膚科／形成外科／美容外科／内科／循環器科	以上受付B	TEL.0767-52-8703
○神経内科／耳鼻咽喉科／脳神経外科／眼科	以上受付C	TEL.0767-52-8704
○泌尿器科／小児科／産婦人科	以上受付D	TEL.0767-52-8705
○健診センター		TEL.0767-52-8716
○精神センター		TEL.0767-52-6619
●代 表(時間外診療など)		TEL.0767-52-6611

ホームページアドレス <http://www.noto-hospital.nanao.ishikawa.jp/>

予防しましょう 口腔ケア

今号の先生 ●
歯科口腔外科医師

長谷剛志先生



人間にとって口からものを食べる行為は日々の楽しみであり、生き甲斐のひとつでもあります。ところが、突然、これができなくなった時、皆さんはどう考えますか。

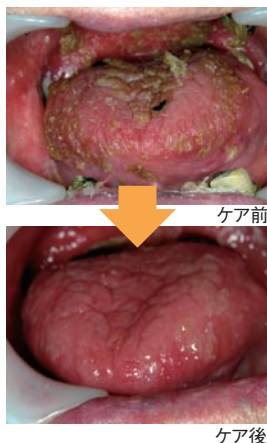
現在、何らかの原因で口から食べることができなくなっても、胃腸や点滴により栄養の確保は可能です。しかし、それでは味や歯ごたえを感じることができず、口から食べる喜びや満足感を得ることはできません。

最近、高齢化の進行とともに「口腔ケア」や「嚥下訓練」といった言葉をよく耳にします。口から食べられない状態が長く続くと、唾液分泌量の低下とともに、口輪筋や咀嚼筋群を中心とし

た筋肉の廃用症候が進行します。特に、高齢者は覚醒時に明らかな誤嚥がなくとも、寝ている間に唾液と一緒に口腔内細菌を飲み込んでしまう「不顕性誤嚥」により肺炎を引き起こす可能性が高くなります。

この予防には、「口腔ケア」が大切です。適宜、必要な清掃器具を選択し、適切な方法で口の中をきれいにすることが重要ですが、ケア時に保湿剤を併用することをお勧めします。保湿剤には唾液の代役として、乾燥を防止し、衛生状態を持続させる効果があるからです。

また、口腔内を清潔にした後、口唇・舌・頬のストレッチや唾液腺のマッサージを行うことで、筋肉の廃用進行を緩慢にし、唾液の分泌を促進させる働きがあります。さらに、口腔ケアを継続することによって脳内神経伝達物質である「サブスタンスP」が増加するため、嚥下反射を誘発する効果があるとともに認知症を防ぐという報告もあり



ります。

一方、反復唾液飲みテストや改定水飲みテストなどの嚥下評価により明らかに誤嚥を認めた場合は、必ず嚥下障害の原因を検索したうえで、機能回復のために「嚥下訓練」が必要です。特に、加齢により舌骨下筋群が衰えている場合、喉頭（のど仏）の位置が下がり、嚥下時に食道の入り口を開くに十分な喉頭が挙上せず、誤嚥を招きやすいため、頭部挙上訓練法やメンデルゾーン手技といった方法を併用した訓練が注目されています。いずれも家庭で簡便に実践できます。食事のとりみ付けで改善できる場合もあります。

高齢者の摂食・嚥下機能は、要介護度の重度化とともにその機能が悪化することが知られており、その予防のためにも口腔機能の向上を目的としたケアが必要です。

誤嚥性肺炎を予防するには…?



「長寿」だけでなく「生きる質」が問われる時代。最期まで人間らしく生きるために、「口腔機能の回復」に注目しましょう。

妊産婦の方へ～産科医療補償制度～

お産をした際、何らかの理由で障害を抱えた赤ちゃんとそのご家族のことを考えた、新しい補償制度です。

〈対象〉

「出生体重2,000g以上かつ妊娠33週以上」、または「妊娠28週以上で所定の要件に該当した場合」で出生した赤ちゃんに、身体障害者等級1級または2級相当の重度脳性麻痺が発症した場合（先天性的要因等については補償の対象外となることがあります）

〈補償水準〉

分娩に関連して発症した 重度脳性麻痺の赤ちゃんに対して、看護・介護のために、一時金600万円と分割金2,400万円、総額3,000万円 ※登録制 ※当院はこの制度に加入している分娩機関です

〈お問い合わせ〉 (財)日本医療機能評価機構

TEL.03-5800-2231 <http://www.sanka-hp.jcqh.or.jp/>

平成20年度第2回

七尾鹿島広域圏事務組合職員採用候補者試験

薬剤師1人、臨床工学技士3人程度、理学療法士1人、作業療法士1人、作業療法士(精神)1人、助産師及び看護師14人程度
〈日時・場所〉

平成20年12月6日(土)午前9時から当院にて

〈受験申込期間〉

平成20年10月16日(木)～11月14日(金)まで

受付事務は午前9時から午後5時(土、日、祝除く)

郵送の場合、11月14日(金)の消印有効

〈問合せ・受験申込〉詳細は下記までお問い合わせ下さい。

当院経営管理部総務課職員係

TEL. 0767-52-8749 FAX .0767-52-9225

E-mail:syomu@noto-hospital.jp

宇野 弘之さん

学校法人阿弥陀寺教育学園 理事長
国際医療福祉専門学校七尾校 学校長

豊かな臨床実習環境のもと 社会貢献できる人材育成に注力

病院に関わる法人のトップの方と川口病院事業管理者が、医療界を取り巻く現状について本音を語り合う新コーナー。今回は、昨年、病院に隣接する土地に専門学校を設立された宇野弘之さんと対談しました。

川口 貴校は昨年、七尾短大跡地に開校した新しい学校ですね。

宇野 はい。当法人は1998年、千葉市に国際医療福祉専門学校を設立以来、「諸人を救う社会的救済実践の精神」に基づいて学生を教育してきましたが、七尾市の誘致活動もあり、縁あってこの地に開校することになりました。七尾校では、確かな技術力と豊かな人間性を育むことを教育理念に掲げています。

川口 学科は作業療法学科、理学療法学科、救急救命学科の3つですね。

宇野 そうです。即戦力として活躍できるスペシャリストを育成するため、単なる理論や知識習得にとどまらず、臨床の現場に即した実習にも注力しています。

川口 当院は、内科や神経内科などの



医師を講師として派遣するほか、理学作業療法と救急救命

の実習受け入れなどをお手伝いしています。

宇野 厚く感謝申し上げます。病院に隣接するという恵まれた教育環境のもと、貴院の協力を得て学生を養成していくことは、この上ない喜びです。

川口 今、医療界では、医師や看護師、事務職員までを含めた職員の資質向上が求められています。当院では、各種委員会活動や外部セミナーへの積極的参加などを通してレベルアップに努めています。貴校はどのような取り組み

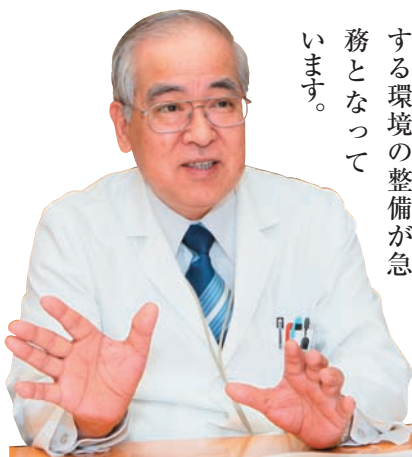
をしていますか。

宇野 専門職として社会貢献できる人間性を育てるため、最新の実習設備を整えています。また、問題解決思考を養うためのカリキュラムを導入し、教員と学生のマンツーマン指導を徹底。国家試験合格率100%を目指しています。

川口 若い世代が地元七尾で育っていくことは、地域や職場の活性化にもつながりますね。当院にも若手職員がたくさんいますが、彼らの若さあふれる活力に刺激を受けているところですか。

宇野 まったくその通りです。市民の健全なQOL（生活の質）を保つため、次世代を担う若い世代を教育し、社会貢献できる人材を育成していくことも大切だと思います。

川口 能登地域はもとより、地域住民の高齢化に拍車がかかる全国で、リハビリテーション医療と救急救命を提供する環境の整備が急務となっています。



これから、作業療法士や理学療法士、救急救命士のニーズは増え、貴校の役割は大きくなると思います。

宇野 ありがとうございます。当校卒業生が医療・福祉・保健分野で活躍してくれる姿を思い描き、これからも社会貢献できる人材の育成に努めていきます。

川口 今日はお忙しいところ、ありがとうございました。



平成21年度
学生募集中

国際医療福祉専門学校
七尾校

理学療法学科／作業療法学科
／救急救命学科

定員各35名
〒926-0816

石川県七尾市藤橋町西部1

TEL.0767-54-0177

FAX.0767-54-0215

URL: <http://www.kifs-nanao.ac.jp>